

# 外国人受入れ新政策

## —日本の未来はどう変わるのか？

**講師：毛受 敏浩 氏**

((公財) 日本国際交流センター 執行理事)

21 世紀の日本は、少子高齢化がさらに進み人口が急減する時代になります。労働力不足が深刻になっている現状を打開するため、政府は外国人受け入れに対して今年4月から新しい政策を施行しました。しかし政府は移民政策ではないといっていますがなぜでしょうか。また外国人の受け入れによって労働力不足は解消されるのでしょうか。すでに国内に居住している 270 万人の外国人を含めて、私たちは外国人とどのように共生して行けばよいのでしょうか、などの疑問について議論します。

**日時：**2019 年 5 月 22 日 (水)  
10:40 ~ 12:10

**会場：**神田外語大学 4 号館 4-101 教室

**司会：**木村 昌人 先生

(本学国際コミュニケーション学科非常勤講師)

慶応大学法学部卒。米国エバグリーン州立大学公共政策大学院修士。兵庫県庁で10年間の勤務後、慶応大学、静岡文芸大学等で非常勤講師を歴任。2018 年度に内閣官房地域魅力創造有識者会議委員を務め、現在、文化庁文化審議会(国語分科会)委員、総務大臣賞自治体国際交流表彰選考委員、新宿区多文化共生まちづくり会議会長等を務める。文藝春秋2018年11月号の『亡国の移民政策』座談会が年間読者賞となる。



**神田外語大学 グローバル・コミュニケーション研究所**

〒261-0014 千葉市美浜区若葉 1-4-1 TEL/FAX: 043-273-2324 E-mail: gci@kanda.kuis.ac.jp